#### 第50回 有機典型元素化学討論会プログラム

会 期 2023年12月7日(木)~9日(土)

会場やレイボックホール(市民会館おおみや)

主 催 第 50 回有機典型元素化学討論会実行委員会

共 催 日本化学会、日本薬学会

協

基礎有機化学会、有機合成化学協会

後 援 ケイ素化学協会

発表時間 特別講演 50分

OA 発表 17 分 (発表 12 分・質疑 4 分・交代 1 分)

\*がついている口頭発表およびポスター発表は、それぞれ優秀講演賞および

優秀ポスター賞の審査対象発表です。

#### 第1日目(2023年12月7日 木曜日)

9:50 - 10:00 開会式

座長 網井秀樹 (群馬大学)

OC-01\* 10:00 – 10:17 分子キャビティを活用したセレノプロテイン生合成に関わる活性中間

体のモデル研究

(東工大理) ○工藤嵐・鍬野哲・後藤敬

OC-02\* 10:17 - 10:34 分子内結合した[7]チアヘテロヘリセン誘導体による[8]ヘテロサーキ

ュレンの合成と物性およびアルキル側鎖の反応

(和歌山大院システム工)○中西達家・大須賀秀次・坂本英文

OC-03\* 10:34 - 10:51 チオピリリウム塩のルイス酸触媒としての利用

(福岡大理) ○吉村知伽子・山田勇治・長洞記嘉

OC-04\* 10:51 - 11:08 親水性を付与した近赤外有機色素の開発と会合特性の解明

(金沢大院自然科学¹・金沢大ナノマテリアル研²) ○星野有輝¹・古山

渓行<sup>2</sup>

11:08 - 11:20 休憩

座長 瀬高渉 (東京都立大学)

OC-05*	11:20 – 11:37	キラル超原子価ヨウ素を用いたケトンのα-オキシ化反応によるエー テル環形成
		(兵庫県大院理)○板床拓海・露口結子・中西泰己・藤田守文・三宅由 寛・下垣実央
OC-06*	11:37 – 11:54	光酸化還元/コバルト協働触媒によるアルケンのマルコフニコフ選択 的ヒドロハロゲン化反応
		(京大化研) ○渋谷将太郎・長尾一哲・大宮寛久
OC-07*	11:54 – 12:11	ジアリールメチレンアミノ基を有する超原子価ヨウ素 反応剤の光励
		起を利用した分子間 C(sp³) – H アミノ化
		(阪大院工)○杉村茉莉・清川謙介・南方聖司
OC-08*	12:11 – 12:28	軟 X 線発光分析を用いた疎水性自己組織化単分子膜に対する水の相互 作用解析
		(東大院新領域 <sup>1</sup> ・AGC <sup>2</sup> ・東大物性研 <sup>3</sup> ・量研 <sup>4</sup> ・産総研 <sup>5</sup> ・産総研・東
		大オペランド OIL6) ○冨依勇佑 <sup>1,2</sup> ・木内久雄 <sup>1,3</sup> ・北村未歩 <sup>4</sup> ・朝倉大
		輔 5,6・細野英司 5,6・原田慈久 1,3,6
	12:28 – 13:45	昼休憩
座長	岩本武明	(東北大学)
OC-09*	13:45 - 14:02	ロジウム触媒によるアルキンのシリル化を基盤とする含ケイ素環状化
		合物の選択的な合成
		(九大先導研 <sup>1</sup> ・九大院総理工 <sup>2</sup> ) ○藤和人 <sup>2</sup> ・関根康平 <sup>1,2</sup> ・國信洋一郎 <sup>1,2</sup>
OC-10*	14:02 – 14:19	重いゲルマンアミド類の反応性
		(京大化研¹・富山大都市デ²) ○青木貴雅¹・水畑吉行¹・時任宣博¹・ 山田容子¹・行本万里子²
OC-11*	14:19 – 14:36	直線アレン型構造を示す 2 -スタンナプロパジエンの合成と性質
		(立教大理) ○浅川哲平・菅又功・箕浦真生
OC-12*	14:36 – 14:53	ヨード脱シリル化を利用したシクロブタジエン骨格導入法の開発
		(広島大院先進理工)○今川大樹・河辺陽・吉田拡人・中本真晃
	14:53 – 15:00	休憩
座長	村岡貴子	(群馬大学)
OC-13*	15:00 - 15:17	フェナレニル型配位子を有するガリウム錯体の合成と反応性
		(阪大院工 ¹・阪大 ICS-OTRI²) ○向井虹渡 ¹・兒玉拓也 ¹.²・鳶巣守 ¹.²
OC-14*	15:17 – 15:34	低酸化数アルミニウム化学種の合成と XPS 測定による電子状態評価
		(名大院工¹・北大院工²・名大院理³・京大院理⁴・東大物性研⁵) ○山
		梨遼太朗 <sup>1</sup> ・車田怜史 <sup>1</sup> ・水谷奏太 <sup>1</sup> ・杉田健悟 <sup>1</sup> ・伊藤肇 <sup>2</sup> ・久保田浩

OC-15*	15:34 – 15:51	司 <sup>2</sup> ・唯美津木 <sup>3</sup> ・邨次智 <sup>3</sup> ・池本悟 <sup>3</sup> ・Chen Chaoqi <sup>3</sup> ・森山拓海 <sup>3</sup> ・小板谷貴典 <sup>4</sup> ・尾崎泰助 <sup>5</sup> ・山下誠 <sup>1</sup> <b>窒素上にホスフィンオキシドを導入した N-ヘテロ環状カルベンを有する Ni(0)錯体と 13 族元素化学種との反応</b> (阪大院工 <sup>1</sup> ・阪大 ICS-OTRI <sup>2</sup> ・阪大 CFi <sup>3</sup> ) ○水取宥敬 <sup>1</sup> ・山内泰宏 <sup>1</sup> ・植竹裕太 <sup>1,2</sup> ・櫻井英博 <sup>1,2</sup> ・生越専介 <sup>1</sup> ・星本陽一 <sup>1,3</sup>
	15:51 – 16:00	休憩
座長 PL-1	上村明男 16:00 – 16:50	(山口大学) <b>ホウ素あるいはスズを含む有機典型金属化合物:合成反応と変換反応</b> (広島大院先進理工)○吉田拡人
	16:50 – 17:00	休憩・移動
P-001~ P-096	17:00 – 18:00 18:00 – 19:00	ポスター発表 (奇数番号) ポスター発表 (偶数番号)

# 第2日目(2023年12月8日 金曜日)

座長	後藤敬	(東京工業大学)
OC-16*	9:15 - 9:32	イオン液体科学を応用したアルケニルアンモニウムの新規合成法
		(山口大工)○笹倉瑠那・川本拓治・藤井健太・上村明男
OC-17*	9:32 – 9:49	1原子欠損擬平面芳香族分子 TriQuinoline の逐次キナゾリン化による
		物性精査
	0.40.40.06	(慶大院薬¹・微化研²) ○櫻井拓也¹・堤亮祐¹・熊谷直哉¹²
OC-18*	9:49 – 10:06	5,5'-ビチアゾリリデン-4,4'-ジオン骨格を電子受容性ユニットとする
		<b>近赤外吸収色素の合成と物性</b> (阪大産研¹・ICS-OTRI²)○山田澪奈¹・安藤直紀 <sup>1,2</sup> ・家裕隆 <sup>1,2</sup>
OC-19*	10:06 - 10:23	酸素含有ヘテロアセン類の光物性や構造特性に対する Push-Pull 構造
00-19	10.00 - 10.23	の影響
		(都立大院都市環境)伊藤正人・○福水友哉・京谷萌衣・久保由治
	10:23 – 10:35	休憩
座長	南方聖司	(大阪大学)
OC-20*	10:35 – 10:52	可視光励起を利用する内部アルキンの trans-ヒドロホウ素化反応の開
		発
		(東工大物質理工) ○小巻孝裕・永島佑貴・田中健
OC-21*	10:52 - 11:09	芳香族アルデヒドの選択的活性化を指向したカゴ型ホウ素錯体の合
		成:ホウ素周囲への複素環導入による効果
		(阪大院工 $^1$ ・ICS-OTRI $^2$ )〇筒井裕哉 $^1$ ・小西彬仁 $^{1,2}$ ・安田 誠 $^{1,2}$
OC-22*	11:09 – 11:26	有機アルミニウム試薬を用いるジヒドロシロール類の合成
		(埼玉大院理工)○大沢龍星・木下英典・三浦勝清
	11:26 – 11:35	休憩
	11.20 – 11.33	<b>小</b> 恋
座長	石井昭彦	(埼玉大学)
PL-2	11:35 – 12:25	ボロン酸超分子の光機能化におけるケモメトリックス適用の試み
		(都立大院都市環境) ○久保由治
	12:25 – 13:35	昼休憩
座長	御崎洋二	(愛媛大学)
OC-23*	13:35 – 13:52	ジアズレニルメチルカチオンの物性に及ぼす高周期カルコゲン元素架
		橋の効果

		(名大院理¹・京大院工²・名大 ITbM³) ○髙橋聡史¹・村井征史¹・関 修平²・山口茂弘¹³
OC-24*	13:52 - 14:09	メチン架橋チオフェン配列の立体構造におけるカルコゲン相互作用の
		影響について
		(阪大院理¹・阪大 ICS-OTRI²)○西村里桜¹・山下健一 ¹.²
OC-25*	14:09 - 14:26	1-アリール-10-フェニルフェノセレナジニウムの合成と光反応
		(学習院大理)○黒川拓真・高橋慎太郎・狩野直和
OC-26	14:26 - 14:43	水車型ナフトチオフェンジイミド多量体の合成と物性
		(理研 CEMS¹・東北大院理 ²) ○実松春樹 ¹・澤本尚典 ¹・Rukiya
		MATSDIK <sup>1</sup> ・瀧宮和男 <sup>1,2</sup>
	14:43 – 14:50	休憩
座長	笹森貴裕	(筑波大学)
OC-27	14:50 - 15:07	ジホスフェンーホスフィンボラン配位子を有するロジウム錯体の合成
		と反応性
		(阪公大院理)○津留崎陽大・武智紳吾・神川憲
OC-28	15:07 – 15:24	リン-1,2-転位を伴うトリ (たブチル) ホスフィンとアルキンの光触媒的
		[3+2]付加環化反応
		(北大院理¹・京大院工²・北大 WPI-ICReDD³)○増田侑亮¹・池下大
		智 <sup>2</sup> ・東田皓介 <sup>3</sup> ・吉田真樹 <sup>1</sup> ・石田直樹 <sup>2</sup> ・村上正浩 <sup>2</sup> ・澤村正也 <sup>1,3</sup>
OC-29	15:24 – 15:41	パイ拡張ホスファアントラセンの合成と構造
		(東工大物質理工)安田幸平・石原啓介・○伊藤繁和
	15:41 – 15:50	休憩
座長	箕浦真生	(立教大学)
PL-3	15:50 – 16:40	ヘテロ原子安定化カルボンとその金属錯体
-		(日大生産工) ○藤井孝宜
	18:00 - 20:00	懇親会 (ホテルブリランテ武蔵野)

# 第3日目(2023年12月9日 土曜日)

座長	俣野善博	(新潟大学)
OC-30	[講演中止]	環式相互作用における軌道位相連続条件のフロンティア軌道理論から の導出
		(岐阜大工¹・岐阜大院自然科技²) ○成瀬有二 ¹,²・小杉拓也 ¹
OC-31	9:32 – 9:49	1,2,4-トリアゾリウム塩イオン液体の吸湿機構
		(豊田理化学研究所¹・鳥取大学²・カーネギーメロン大学³)○伊藤敏 表 1・既 ト微オ キ ²・H‐‐‐‐ a L ヒ;₃
OC-32	9:49 - 10:06	幸 <sup>1</sup> ・野上敏材 <sup>2</sup> ・Hyung J. Kim <sup>3</sup> プロパルギルリン酸エステルを用いたフラーレンの分子変換
00 02	3.13 10.00	(東学芸大教¹・城西大理²) ○山田道夫¹・魚川優太¹・石塚明日美¹・ 前田優¹・鈴木光明²
OC-33	10:06 - 10:23	同口後 *・ 野小九切 * らせん形縮合アントラセン環状化合物における内部水素原子の異常近
000	10.00 10.20	接
		(東工大理) ○鶴巻英治・福田大輝・豊田真司
	10:23 – 10:35	休憩
座長	佐藤総一	(東洋大学)
OC-34	10:35 - 10:52	ヨウ素触媒によるアルケンのフッ素化反応
		(佐賀大理工¹・ダイキン工業²) ○北村二雄¹・小山田重蔵¹・
000=		東昌弘 2・岸川洋介 2
OC-35	10:52 – 11:09	カルボランスルフィド触媒による芳香族化合物の求電子的ハロゲン化
		<b>反応</b> (阪大院工¹・阪大 OTRI²)○西井祐二¹・Chandrababu Naidu Kona²・
		奥陸人 $^1$ ・中村彰太郎 $^1$ ・平野康次 $^{1,2}$ ・三浦雅博 $^2$
OC-36	11:09 – 11:26	7 員環状ジアルコキシシリル基を用いた反応の展開
		(京大院理)○下川淳・齊藤颯・佐橋遼平・寺西建登・一入賢之朗・前
		田紘希・森永拓都・山岸拓幹・依光英樹
	11:26 – 11:35	休憩
座長	山下誠	(名古屋大学)
OC-37	11:35 – 11:52	キラルサレン型配位子を用いた円偏光発光性アルミニウム錯体の開発
		(日大生産工¹・近大院総理工²) ○池下雅広¹・佐藤公紀¹・鈴木聖
		香 <sup>2</sup> ・今井喜胤 <sup>2</sup> ・津野孝 <sup>1</sup>
OC-38	11:52 – 12:09	主鎖に直結したホウ素を鍵とする側鎖協働型ポリマー触媒
		(京大院工)○西川剛・牧野寛・大内誠

OC-39	12:09 – 12:26	典型元素を利用したホスト-ドーパント系の有機トリボルミネッセンス極性結晶 (阪公大院工 ¹・阪公大 RIMED²・阪公大工 ³) ○大垣拓也 ¹.²・山浦太佑 ³・松井康哲 ¹.²・池田浩 ¹.²
	12:26 – 13:45	昼休憩
座長 PL-4	斎藤雅一 13:45 – 14:35	(埼玉大学) <b>ヘテロ原子含有 π 共役化合物の合成と機能</b> (兵庫県立大院理)○三宅由寛
座長 OC-40	狩野直和 14:35 – 14:52	(学習院大学) シリルカチオンによるアルキンの活性化を活用した含ケイ素環状化合物の合成(3):4-および 5-ヒドロシリル-1-メチル-1 <i>H</i> -インドール類を用いた反応 (群馬大院理工¹・宮崎大教育²)○川島隆幸¹・有井秀和²
OC-41	14:52 – 15:09	ビス (フェロセニル) シリレンの合成検討 (筑波大数理物質 ¹・筑波大 TREMS²) ○笹森貴裕 ¹.²・潘楊 ¹
OC-42	15:09 – 15:26	安定ジアルキルシラノンの求電子反応 (東北大院理) ○石田真太郎・坂本健悟・小林良・岩本武明
	15:26 – 16:00	表彰式

### ポスター

D. O.4.th	
P-01*	キラルアミノ酸導入ジアミノセレノシクロファンによる金属ナノ粒子の保護と
	その特性 (近畿大院総理工¹・近畿大理工²) ○中安直人¹・仲程司 <sup>1,2</sup>
P-02*	六配位中性 As(Ⅲ)および As(Ⅴ)ジカチオン性化合物の合成
P-02	
D 00*	(京工繊大院工芸)○安井智紀・千代茜絵・井本裕顕・中建介
P-03*	ジアザベンゼンを有するカルコゲニドを多座配位子とする配位高分子型銅(I)錯
	体の合成と光学特性
D 0.4*	(中部大院工¹・中部大工²) ○菅沼諒哉¹・饒村修²
P-04*	含窒素環式化合物の触媒的水素化/脱水素化を鍵とする水素精製
	(阪大院工¹・阪大 CFi²) ○橋本大輝¹・生越専介¹・星本陽一¹,²
P-05*	含ビスマス多座配位子の合成及び遷移金属錯体との反応
	(北里大院理)○葛西迅・神谷昌宏・弓削秀隆
P-06*	ルイス塩基が配位した(クロロ)テトラフェニルガラシクロペンタジエンの合
	成,構造および反応性
	(群馬大院理工)○山内彩花・片山晴留香・村岡貴子
P-07*	アザジボリリジン-遷移金属錯体に及ぼすシリル置換基導入効果
	(広島大院先進理工¹・Univ. Guanajuato²)○林博斗¹・古川柊¹・木村好貴¹・
	Leonardo I. Lugo-Fuentes²・J. Oscar C. Jimenez-Halla²・中本真晃 ¹・久保和
	幸 <sup>1</sup> ・水田勉 <sup>1</sup> ・Rong Shang <sup>1</sup>
P-08*	プメラー型活性化によるベンゾチアゾールの 4 位アリール化
	(京大院理)○若林亮汰・王爍・黒木尭・依光英樹
P-09*	セレン原子の関与する擬似的多原子直線状結合の構築と置換基導入による構造
	制御
	(和歌山大院システム工)○北川智哉・林聡子
P-10*	ホスフィノボラートとアジド化合物の反応
	(学習院大理) ○保坂樹郎・諸藤達也・高橋慎太郎・狩野直和
P-11*	トリアリールホウ素における遠隔位置換基間の相互作用に注目したルイス酸性
	度制御法
	(阪大院工¹・阪大 CFi²) ○森下泰地¹・櫻羽真熙¹・橋本大輝¹・生越専介¹・
	星本陽一 1,2
P-12*	アルキン 2 分子と単体硫黄を用いた[2+2+1]付加環化反応による新規チオフェ
	ン合成法
	(東理大創域理工)○印南朱里蘭・石田健人・荻原陽平・坂井教郎
P-13*	[(アルコキシ)オリゴシラニル]リチウムを用いたオリゴシランの合成とケイ素
	鎖への置換基導入
	(法政大院理工¹・法政大生命²) ○分目瑞希¹・山口達也¹・河内敦²

P-14*	[OSSO]型ジルコニウム錯体を用いた 2-ビニル-2,1-ボラザナフタレンのイソ特 異的配位重合反応
	乗り配位単石及心 (埼玉大院理工)○前田翔海・石井昭彦・中田憲男
P-15*	α-シクロデキストリンに内包させたドデカハイドロ-closo-ドデカボレートの
1 10	位置選択的ジフルオロ化反応
	(岡山大院環境生命自然科学 <sup>1</sup> ・岡山大環境理工 <sup>2</sup> ・岡山大学術研究院環境生命
	自然科学 <sup>3</sup> ) ○倉田一輝 <sup>1</sup> ・中村駿斗 <sup>2</sup> ・田嶋智之 <sup>3</sup>
P-16*	In,out-ジブチルジシラ[10.10.10]ビシクロアルカンの合成と溶液中の分子運動
1 10	(都立大院都市環境) ○本吉玄·稲垣佑亮·瀬高渉
P-17*	酸素架橋型トリフェニルアルシン誘導体を配位子にもつ白金錯体の合成と発光
1 1.	特性の評価
	(京工繊大院工芸)○行安純哉・隅田滉史・井本裕顕・中建介
P-18*	アズレニルホウ酸エステルの B/Bi トランスメタル化反応
	(山口大院創成科学¹・奈良女子大工²・東北大多元研³) ○中山慶彦¹・三方裕
	司 <sup>2</sup> ·笠井均 <sup>3</sup> ·上條真 <sup>1</sup> ·村藤俊宏 <sup>1</sup>
P-19*	チオフェンボロネート架橋型 PVA の室温燐光特性を利用した残光センシング
	(都立大院都市環境)○竹川慧・Margarita Claudya Maida・伊藤正人・久保由
	治
P-20*	光学活性セレノトレオ核酸誘導体の合成と生理活性評価
	(東海大院理¹・東海大先進生命研²) ○池田健人¹・岩岡道夫¹ <sup>,2</sup>
P-21*	炭素一炭素多重結合に対する単離可能なリン中心ラジカルの付加反応
	(東北大院理) ○片山泰宏・石田真太郎・岩本武明
P-22*	9 位にアリール基を有するセレノキサンチリウム塩の合成および性質解明
	(福岡大理)○山﨑未波・長洞記嘉
P-23*	新奇ヒ素系イオン液体の合成とその物性調査
	(京工繊大院工芸 ¹・上智大院理工 ²) ○稲葉凌斗 ¹・林祐太朗 ²・藤田正博 ²・井
	本裕顕 1・中建介 1
P-24*	5,6-二置換ピリドイミダゾイソキノリニウムの合成と細胞内発光挙動
	(愛知学院大薬)○川久保暢人・稲熊祐子・國府方梨菜・村田裕基・松村実生・
	古野忠秀・安池修之
P-25*	ナフタレンユニットによって架橋されたジボラアントラセン二量体の合成と性
	(東工大化生研¹・東工大物質理工学院応用化学系²) ○宮城亜衣¹²・福島孝
	典 <sup>1,2</sup> · 庄子良晃 <sup>1,2</sup>
P-26*	光照射下におけるヨウ化アリールスルホニウムからヨウ化アリールへの選択的
	変換反応の開発
	(阪公大院工¹・阪公大研究推進²) ○朴孝憲¹・小玉晋太朗¹・野元昭宏¹・小川
D 05*	
P-27*	重回帰分析によるフェノール系光触媒の分子設計と C-F 結合変換反応への応用

	(阪大院工¹・ICS-OTRI²)西本能弘 <sup>1,2</sup> ・○栗本優¹・安田誠 <sup>1,2</sup>
P-28*	N-ボラン置換環状ホスフィンイミド(BCPIs)
	(阪大院工¹・阪大 CFi²)○長井駿¹・生越専介¹・星本陽一 ¹.²
P-29*	ホウ素錯体の光励起を利用したキノリン環の脱芳香族的[2+2]付加環化反応の
	開発
	(東工大物質理工) ○下世明日葉・石垣信穂・永島佑貴・田中健
P-30*	ナフタレン環上に複数のスルホニウム部位を有する化合物の合成と性質
	(都立大院理) ○北村尚也・平林一徳・清水敏夫
P-31*	窒素原子とホウ素原子が隣接した環状ホスフィド配位子の合成
	(広島大院先進理工¹・グアナファト大学²)○有田龍祐¹・松前翔三¹・Leonardo
	I. Lugo-Fuentes²・J. Oscar C. Jimenez-Halla²・水田勉 ¹・中本真晃 ¹・久保和
	幸 <sup>1</sup> ・久米晶子 <sup>1</sup> ・Rong Shang <sup>1</sup>
P-32*	アルソールの分解とヒ素元素の循環的利用
	(京工繊大院工芸)○髙原千瑳・岩崎鈴加・井本裕顕・中建介
P-33*	ビス(スルファン)カーボン(0) ((ビフェニル-2,2'-ジイル)ビス(フェニルスルフ
	ァン)カーボン(0)) CO2 付加体の合成と構造
	(日大生産工)○梅岡舞・野口桂子・藤井孝宜
P-34*	ビス(フェロセニル)ハロアルマン誘導体の合成
	(筑波大院数理物質 ¹・筑波大数理物質 ²・筑波大 TREMS³) ○安濟統瑚 ¹・笹森
	貴裕 <sup>2,3</sup>
P-35*	ジホスフィンモノオキシド-パラジウム触媒系による末端アルキンの位置選択
	的ヒドロホスフィネーション
	(阪公大院工¹・山梨大院総研²・阪公大研究推進³) ○藤原孝翼¹・山本結
	生 <sup>2</sup> ・野元昭宏 <sup>1</sup> ・小川昭弥 <sup>3</sup>
P-36*	ナフタレンまたはベンゾチオフェンと縮環したベンゾジチオフェン誘導体の硫
	黄原子の位置異性体の合成と物性
	(和歌山大院システム工) ○橘航輝・大須賀秀次・坂本英文
P-37*	ルイス酸触媒、ヒドロシラン、単体セレンを用いたラクトンからのセレノラクト
	ン合成及び非環状エステルからのセレニド合成
	(東理大創域理工)○木野泰・石田健人・荻原陽平・坂井教郎
P-38*	単層カーボンナノチューブの化学修飾による発光制御とアミノ基を利用した段
	階的な分子変換反応
	(東学芸大院連合教育¹・東学芸大教²・城西大理³) ○紺野優以¹・山田道夫²・
	鈴木光明 <sup>3</sup> ・前田優 <sup>1,2</sup>
P-39*	カゴ型二核アルミニウム錯体の合成と立体選択的な触媒的グリコシル化反応へ
	の応用
	(阪大院工¹・阪大院理²) 小西彬仁¹・○西谷達也¹・田中洋輔²・矢野君晟²・
	横山夕華 <sup>2</sup> ・真鍋良幸 <sup>2</sup> ・深瀬浩一 <sup>2</sup> ・安田誠 <sup>1</sup>
P-40*	スピロ共役を介した超共役的反芳香族化合物の合成

	(お茶大院理 ¹・中大院理工 ²) ○小林加奈 ¹・伊藤正太郎 ²・石井洋一 ²・桑原拓
	也 1
P-41*	ヒ <b>素の酸化還元特性を利用したドミノ反応によるアルコールの触媒的酸化</b> (京工繊大院工芸)○大河内千紘・稲葉凌斗・井本裕顕・中建介
D 40*	
P-42*	アミノ基を有するベンゾジチオフェン誘導体の硫黄原子の位置異性体の合成と
	<b>物性</b> (和歌山大院システム工)○和佐野元輝・大須賀秀次・坂本英文
P-43*	スタンナシクロペンタジエニリデンと小分子との反応
	(埼玉大院理工)○和田一樹・工藤俊輔・古川俊輔・斎藤雅一
P-44*	カゴ型ホウ素錯体のルイス酸性および触媒能に対する発色団の導入位置効果
	(阪大院工¹・ICS-OTRI²) 筒井裕哉¹・○内山雄太¹・小西彬仁 ¹.²・安田誠 ¹.²
P-45*	縮環構造をもつホウ素置換リンイリドの合成と構造
0	(学習院大理)○坂田瑠奈・諸藤達也・高橋慎太郎・狩野直和
P-46*	※後日公開
1 10	AZI ZIII
P-47*	結晶工学を活用した高反応性ゲルマニウム不飽和化学種の合成と構造
	(立教大理)○若狹優惟・箕浦真生
P-48*	カテコール-3,6-ジイルを回転子として架橋したかご型分子ローターの合成と溶
	液中の回転運動
	(都立大院都市環境)○岸井飛・稲垣佑亮・瀬高渉
P-49*	分子内 NHC-アミノ配位子を有する高周期 14 族元素ヒドロメタリレンを用
	いた二酸化炭素の変換反応
	(埼玉大院理工)○三宅奏一郎・赤間瞭・石井昭彦・中田憲男
P-50*	ヒドロおよびボリルボラピラミダンの合成と反応性
	(広島大院先進理工)○山口正晶・今川大樹・吉田拡人・中本真晃
P-51*	大環状ホウ素カチオン化合物の合成と多環式ボランへの誘導化
	(東工大化生研¹・東工大物質理工²・北大理学研究院³) ○村田幸優¹²・Cihan
	Özen <sup>3</sup> ・前田理 <sup>3</sup> ・福島孝典 <sup>1,2</sup> ・庄子良晃 <sup>1,2</sup>
P-52*	剛直なキラル骨格を有する新規キラル BODIPY の合成
	(近畿大院総理工¹・近畿大理工²) ○福永めぐみ¹・仲程司 <sup>1,2</sup>
P-53*	ケイ素置換基の選択的化学変換を利用した集積反芳香族分子の合成検討
	(広島大院先進理工)○河辺陽・今川大樹・吉田拡人・中本真晃
P-54*	テルル六置換ベンゼンの合成とその反応性および物性の解明
	(埼玉大院理工¹・立教大理²・京都府大院生命環境³) ○瀬古紗弥¹・壬生颯
	史 1・箕浦真生 2・波田雅彦 3・古川俊輔 1・斎藤雅一 1
P-55*	チオール-イン反応により基板上でポリマー化する p 型半導体膜の開発
	・ (京大化研)○橋本塁人・Truong Anh Minh・中村智也・Murdey Richard・若
	宮淳志
P-56*	分子キャビティを活用したペルチオールのニトロソ化に関するモデル研究

	(東工大院理)○池田緋菜多・鍬野哲・後藤敬
P-57*	π 平面の上下にアミド基を有する π 拡張ベンゾチオフェンの超分子重合
	(名大院理¹・名大 ITbM²)○濱田安宏¹・大城宗一郎¹・山口茂弘 ¹.²
P-58*	有機硫黄系正極活物質を導入した全固体電池作製と性能評価
	(米子工業高等専門学校¹・関西学院大²・大阪産業技術研究所³)○野田悠成¹・
	篠田和希 <sup>1</sup> ・那和洸星 <sup>1</sup> ・清水剛志 <sup>1</sup> ・谷藤尚貴 <sup>1</sup> ・吉川浩史 <sup>2</sup> ・山本真理 <sup>3</sup> ・加藤
	敦隆 <sup>3</sup> ・高橋雅也 <sup>3</sup>
P-59*	チオフェン縮環アルシニンの合成及び構造・芳香族性・反応性の調査
	(京工繊大院工芸)○隅田滉史・井本裕顕・中建介
P-60*	ハロシリレンの合成研究
	(近畿大理工)○髙橋直也・太田圭・松尾司
P-61*	優れた蛍光特性と溶解性を示すπ共役拡張 BODIPY の新規合成
	(宇都宮大院工)○小林伸太郎・六本木誠・伊藤智志
P-62*	カルボキシ基を有するアントラキノイド挿入型 TTF 類の合成と MOF の作製
	(愛媛大院理工¹・愛媛大 RU:E-USE²・北大電子研³)○阿曽悠登¹・吉村彩¹・
	白旗崇 1,2・中村貴義 3・御崎洋二 1,2
P-63*	ジベンゾバレレン骨格と融合し 2,5-位がセレン架橋された 1,6-ジセレノ
	-1,3,5-ヘキサトリエン誘導体の合成、酸化および光物性
	(埼玉大院理工)○小澤彩子・中田憲男・石井昭彦
P-64*	ランタノイド塩によるβ-チオキソケトンの二量化反応の促進
	(阪公大院理)○鈴木理子・三枝栄子・三宅弘之・篠田哲史
P-65*	大規模柔軟トリシクロアルカンの合成と構造
	(都立大院都市環境)○涂雨暘・稲垣佑亮・瀬高渉
P-66*	イミノホスホナミドクロロシリレンと 13 族元素水素化物との反応
	(埼玉大院理工)○淡路拓矢・高橋慎太郎・石井昭彦・中田憲男
P-67*	新規ペンタシラトリシクロ[2.1.0.0².5]ペンタンの合成
	(東北大院理)○石川朋樹・石田真太郎・岩本武明
P-68*	ナフタレン周縁部に広がるσ対称性軌道に非局在化するジラジカルの創製
	(埼玉大院理工¹・X-Ability Co., Ltd.²・立教大理³)○田中泰地¹・川口倫子¹・
	石村和也 <sup>2</sup> ・箕浦真生 <sup>3</sup> ・長嶋宏樹 <sup>1</sup> ・古川俊輔 <sup>1</sup> ・谷口弘三 <sup>1</sup> ・斎藤雅一 <sup>1</sup>
P-69*	ポリ BINOL セレニド合成へのアプローチ
	(近畿大院総理工¹・近畿大理工²) ○村田一貴¹・仲程司¹²
P-70*	1,8-ナフチルビス(スルファン)カーボン(0)と N-ヘテロサイクリックカルベンを
	有する金錯体の合成と構造
	(日大生産工)○塚本玲奈・野口桂子・藤井孝宜
P-71*	ヒ素配位子を用いたヘテロアレーン C-H 活性化反応の開発
	(京工繊大院工芸)○小川健太・隅田滉史・井本裕顕・中建介
P-72*	2,5-ビスチエニルピロールの反応性を基盤としたオリゴ複素環の合成とその応
	用

	石 丸 雄 大 '
P-73*	酸素…ヨウ素ハロゲン結合に基づく有機極性結晶の設計とそのトリボルミネッ
	センス特性
	(阪公大院工¹・阪公大 RIMED²・阪公大工³) 大垣拓也 ¹.²・○山浦太佑 ³・松井
	康哲 <sup>1,2</sup> ・池田浩 <sup>1,2</sup>
P-74*	ジチエノホスフェピニウムを基本骨格とする D-A-D 型色素の発光特性
	(名大院理¹・名大 ITbM²)○安藤慶太¹・村井征史¹・山口茂弘 ¹.²
P-75*	ヘテロ原子の導入による混み合ったアルケンの配座異性体の制御
	(広島大院先進理工)○山田航平・安達洋平・大下浄治
P-76	ジセレネットを縮環したサブフタロシアニンの合成と反応
	(岩手大研産セ)○木村毅
P-77	5 価ビスマス試薬を用いた脱硫閉環反応:ベンゾアゾール縮環キナゾリノン誘導
	体の合成
	(愛知学院大薬)○村田裕基・小柳アリス・竹下茅咲・加藤勇希・松村実生・安
	池修之
P-78	新規 Arylbenzbromoxolones の合成とその構造
	(青森大薬¹・TPU²・東農工大院工³) ○吉村祥¹・Mironova A. Irina²・鈴木達
	哉 <sup>1</sup> ・植木章晴 <sup>1</sup> ・Yusubov S. Mekhman <sup>2</sup> ・齊藤亜紀夫 <sup>3</sup>
P-79	単層カーボンナノチューブ内包を指向したジフェロセニルジメチルスタンナン
	の合成
	(岡山大院環境生命 <sup>1</sup> ・岡山大学環境理工 <sup>2</sup> ・岡山大学術研究院環境生命自然 <sup>3</sup> )
	○近藤佑亮 <sup>1</sup> ・神谷泰地 <sup>2</sup> ・田嶋智之 <sup>3</sup>
P-80	分子内配位部位を有するビス(フェロセニル)ブロモスチビンの合成と反応
	(筑波大院数理¹・筑波大数理物質²・筑波大 TREMS³)○川元慎也¹・笹森貴
	裕 <sup>2,3</sup>
P-81	ポリエチレングリコール鎖を有する常温液体二フッ化ホウ素錯体の合成と発光
	特性
	(日大院生産工¹・日大生産工²) ○一ノ瀬未来¹・池下雅広²・津野孝²
P-82	低酸素条件下での 9-アミノアントラセンの蛍光持続性を利用した生体内イメー
	ジングへの応用
	(北里大理¹・北里大院医療²) ○内山洋介¹・山浦貴久¹・上田寛治¹・舟田侑之
	助 <sup>1</sup> ·丸山弘子 <sup>2</sup>
P-83	5,10,15,20-テトラアリール-5,15-ジアザポルフィリンを配位子とするケイ素
	(IV)錯体の合成
	(新潟大院自然¹・九大院理²・新潟大理³) ○鈴木裕也¹・中野晴之²・俣野善
	博 <sup>3</sup>
P-84	チオフェン環上にスルホニウム部位を有する化合物の合成と性質

(埼玉大院理工 1・埼玉大科学分析支援センター2) ○鈴木啓友 1・藤原隆司 2・

(都立大院理) ○來栖弓奈・平林一徳・清水敏夫

P-85	バルビエ反応による 1-シラ-3-シクロヘキセン骨格の構築
<b>7</b> .04	(法政大院理工¹・法政大生命²) ○津ヶ谷真唯¹・野口香織¹・河内敦²
P-86	キラルサレン型配位子を有する二核ホウ素錯体の溶媒依存円偏光発光
	(日大生産工 ¹・近大院総理工 ²) ○黒田歩夢 ¹・池下雅広 ¹・鈴木聖香 ²・今井喜
	胤 <sup>2</sup> ・津野孝 <sup>1</sup>
P-87	キラルジフェニルホウ素錯体の合成と剛直化に基づく発光色調制御
	(日大院生産工¹・日大生産工²・近大院総理工³) ○渡邉伸安¹・岡太一²・北原
	真穂 <sup>3</sup> ・鈴木聖香 <sup>3</sup> ・今井喜胤 <sup>3</sup> ・池下雅広 <sup>2</sup> ・津野孝 <sup>2</sup>
P-88	フェノチアジン配位子を有する金属有機構造体の合成とガス吸着挙動
	(立教大理¹・日本曹達株式会社²) ○菅又功¹・古川璃子¹・天野倉夏樹 ¹.²・箕
	浦真生 1
P-89	高水素貯蔵能を有する新規ホスホラミド亜鉛 MOF の合成と構造
	(立教大理¹・日本曹達株式会社²) ○小林翔¹・菅又功¹・天野倉夏樹¹√2・白井
	昭宏 <sup>1,2</sup> ・箕浦真生 <sup>1</sup>
P-90	振電構造に見る超原子価ハロゲン化合物の結合状態:[(C5H5N)2X]+(X=Br, I)を
	例として
	(広島大院先進)○村松悟・松山晃仁・岩永大輝・井口佳哉
P-91	ゲルミレンの反応性の開拓
	(近畿大理工)○重松宏幸・大野日奈美・藤田直子・太田圭・松尾司
P-92	チオフェンで連結されたグアイアズレン二量体および関連化合物の合成と性質
	(埼玉大院理工)○二宮準之助・佐藤大
P-93	2-(トリイソプロピルシリル)ベンゾ[b]チオフェンの直接ホウ素化反応の検討
	(東北大院理)○岸大貴・稲場達也・仲山圭太・豊田耕三
P-94	典型元素架橋有機πラジカルの物性に及ぼす元素と周辺置換基の影響
	(都立大院都市環境)○伊藤正人・京谷萌衣・福水友哉・久保由治
P-95	チオフェンを挿入した 1,3-ジチオール[6]デンドラレン類の合成と性質
	(愛媛大院理工¹・愛媛大 RU:E-USE²)○御崎智也¹・東稜征¹・伊藤俊基¹・戒
	能元洋 <sup>1</sup> ・川相良太 <sup>1</sup> ・上田将史 <sup>1</sup> ・吉村彩 <sup>1</sup> ・白旗崇 <sup>1,2</sup> ・御崎洋二 <sup>1,2</sup> ・林実 <sup>1</sup>
P-96	キノリン型配位子の合成と錯形成反応
	(大阪公立大院理¹・和歌山大院システムエ²) ○坂本沙優¹・三枝栄子¹・三宅
	弘之 <sup>1</sup> ·篠田哲史 <sup>1</sup> ·小川尚輝 <sup>2</sup> ·林聡子 <sup>2</sup>